

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		スーパーティーチャーの育成				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	227	計画事業名	スーパーティーチャーの育成				
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成						事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進						[事業開始]	平成 25 年度
		[施 策] ①個性を生かす学校教育の充実						[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区スーパーティーチャー育成講座実施要綱				
	事業対象	直接の対象 : 区立保育園、幼稚園(認定こども園含む)、小学校、中学校の教員及び保育士 最終的な対象 : 区立保育園、幼稚園(認定こども園含む)、小学校、中学校に通う幼児、児童、生徒							
	事業目的	教員・保育士の指導力を一層高め、他の教員・保育士を指導する資質・能力を育成することにより、台東区の幼児・児童・生徒の学力・体力向上を図る。							
事業内容 [29年度]	台東区の学力・体力向上施策を総合的に推進するために、教科などの指導力の高い教職員・保育士を計画的に育成する講座を開催し、台東区の次代を担う教職員・保育士を育成する。 ・平成25、26年度は、ICT・理科・体力の3講座を設置 ・平成27、28年度は、ICT・特別支援・体力の3講座を設置 ・平成29年度は、特別支援・体力・道徳・アクティブラーニングの4講座を設置(2講座ずつ対象を2つに分けて実施)								
委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	講座開催回数	回	20	15	15	20	15	133.3%
				(4講座)	(3講座)	(3講座)	(4講座)	(3講座)	
	成果指標	受講者数	人	37	44	34	34	47	72.3%
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			639		657		676
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,604		2,229		2,095
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			181		189		156
		総経費			458		468		520
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			2,243		2,886		2,771	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
	一般財源(区負担額)			0		0		0	
前回評価から29年度に改善した事項	講座の設定を工夫し、保育園・幼稚園向けの講座と小学校・中学校向けの講座を分けることで、それぞれの教育課題に取り組める講座とした。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	複雑化する教育課題を解決するためには、講座の受講を通して教員・保育士の指導力を一層高める必要がある。また、受講者がOJT等を通して学校園の中で活躍することで、台東区の教育力向上に結びついている。						
	効率性	3	コストに大きな増減はないが、学校園が個別に指導力の育成に取り組むのではなく、区が専門的知識を有する講師を選び、教育課題を考慮してテーマ別に講座を実施することで、台東区全体の教育力向上に結び付き効果的である。						
	手段の適切性	3	指導力の高い教員・保育士を計画的に育成するため、定期的に研究テーマの見直しを図りながら実施した。						
目的達成度	2	本講座を受講済みの教員・保育士が増加したことにより、受講者数が目標を下回る傾向にあるが、累積で受講した教員・保育士数は着実に増えており、台東区全体の教育力向上に結び付いている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
本講座を受講済みの教員・保育士が増加したことにより、受講者数が前年度と同数の状況となっているが、講座の設定を見直したことにより、教員・保育士の資質・能力の育成効果は高まっている。今後も講座の設定を工夫し、必要な教育課題をとらえ内容を見直すことで、教員・保育士の指導力向上を引き続き図る必要がある。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	